



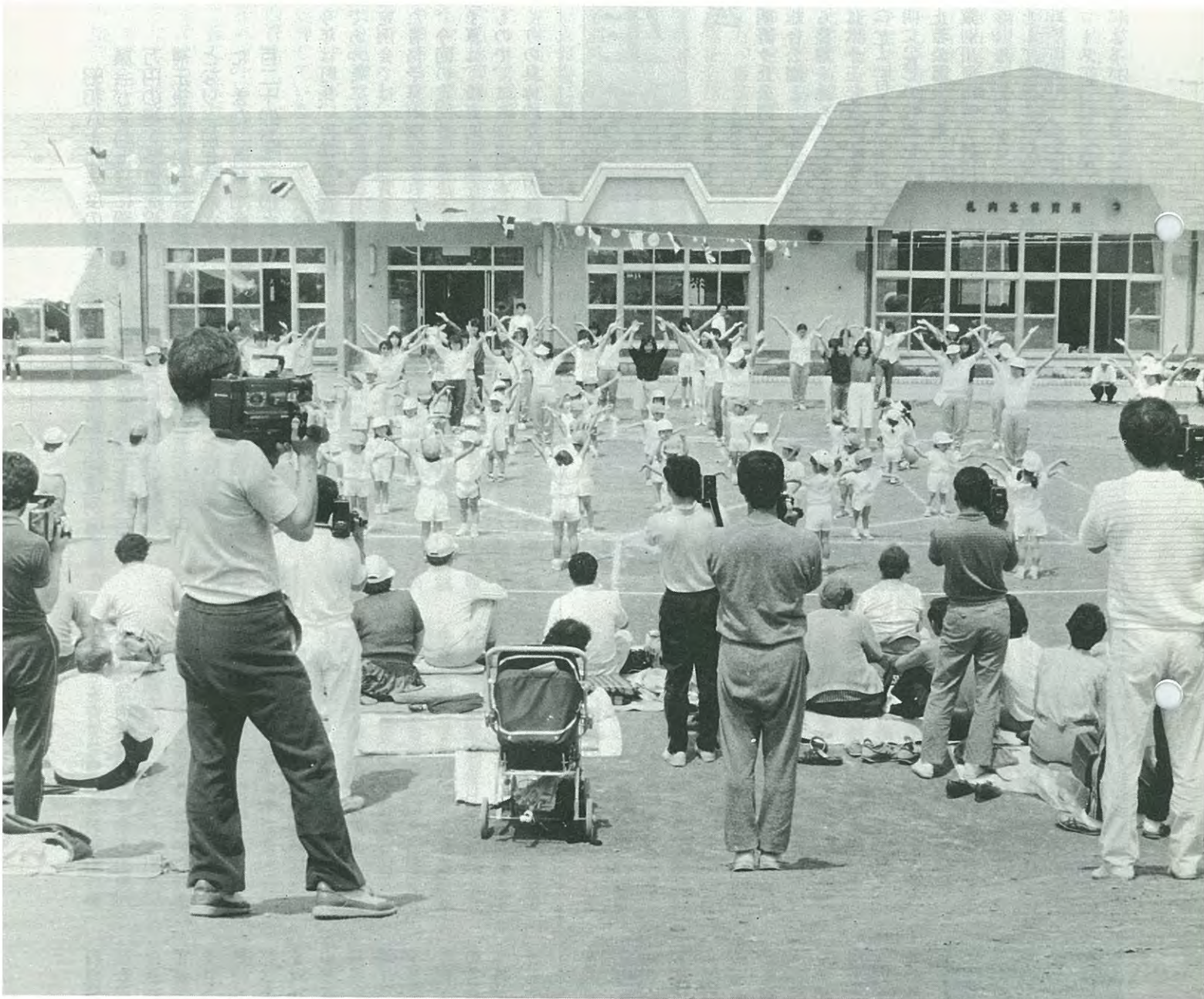
まくベツ

—わたしたちのまち—

(昭和62年6月1日現在)

人 口	21,709	(- 4)
男	10,604	(-11)
女	11,105	(+ 7)
世帯数	6,673	(+ 2)
一人のうごき (5月中) —		
転入	57人	転出 63人
出生	15人	死亡 13人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



お父さん、がんばって!

6月は運動会のシーズン。日曜日ごとに各保育所、学校で運動会が行われました。ここれ内北保育所の運動会は21日に行われました。最後の種目の「小さな体操」には子供たちとお母さんが出場し、お父さんはビデオカメラなどで撮影。ちょうどこの日は「父の日」。一家の大黒柱であるお父さん、これからも頑張ってください。

62年

7

No.426

一般会計総額は77億円に 16億2千6百万円を補正

昭和六十二年度の政策予算を審議する第二回定例会が六月九日に開会され、林町長が十六億二千六百万円の補正予算を提案し、議決されました。この結果、補正後の一般会計総額は七十六億九千六百五十二千円となり、前年同期と比べると一・六%の増となりました。また、九特別会計を合わせると百二十七億六千五百二十四万三千円となり、四・七%の増となりました。

今年、町長、町議会議員の改選期であったことから、三月の第一回定例会では、経常経費を主体とした骨格予算が議決されていきました。今回の定例会で議決された補正予算は、投資的事業を主体にしたもので、これにより本年度の町づくりの具体的な内容が決まりました。

林町長は、町政を進める基本的な考え方として、『町民一人ひとりの声を大事にしながら、すべての町民で創る町政を基調にし、新総合振興計画に掲げております町づくり五つの柱、"ゆとりある暮らしと住みよい生活環境の整備"をお

らかさを育てる豊かな教育条件の整備」「活力みなぎる産業の振興」「愛に満ち、心がよいあう福祉」「うるおいある暮らしに良い自然環境を」この五つの目標を重点として、今後も町政を推進してまいりたいと考えております。

町の財政は極めて厳しい状況にありますが、行政水準の低下を防ぎ、努めて経常経費の節減合理化を図りながら、多様化する住民要望に応えてまいりたいと考えております」として、六十二年の政策予算を提案しました。

昭和六十二年の政策予算も、歳入面では町税や地方交付税が国

内経済の動向からして、大きな伸びが期待できない一方、歳出面では義務的経費の増大、住民の行政要望の増大・多様化により、これまでにない財政状況にあります。そのため、町の貯金である財政調整基金から、当初予算では一億円を繰り入れていましたが、今回の補正予算でもさらに二億五千万円を繰り入れました。これにより、補正後の基金現在高は、約三億二千万円になりました。

以下、当初予算に計上されたものも含め、本年度行われる町づくりの主な事業についてお知らせいたします。

生活環境の整備

行われます。

▼明野ヶ丘公園の整備

総合公園として、昭和五十三年から整備を進めています。完成予定は六十五年で、本年度は駐車場(二千二百六十平方メートル)の舗装と照明(六基)の設置を行います。

▼止若公園の整備

猿別川河川敷を利用しレクリエーション、軽スポーツを楽しむ公園として、五十五年頃から整備を進めています。本年度はジョギングコース(百メートル)の整備と、振興公社によるパークゴルフ場の造成が



パークゴルフ場が造成される猿別川河川敷

道路

▼町道・街路の整備

生産基盤となる幹線道路の整備や、市街地道路の舗装を進めます。本年度は市街地道路では、春日団地道路一号(百八十メートル)、旭町一条通(百六十メートル)、あかしや団地道路四号(百メートル)、札内七号団地道路四号(百十メートル)、札内四線(二百二十メートル)の舗装を行います。幹線道路では軍岡大豊線ほか十路線の整備を行います。事業費は総額で約三億六千三百万円で、今年度事業完了時点では、改良率四五%(前年四三%)、舗装率二九%(前年二五%)になります。

▼道路の防じん処理

市街地の未舗装道路や交通量が多い路線に、乳剤防じん処理を行います。本年度は、幕別地区九路線、札内地区二十路線で、一千四

交通防犯

▼幕別本通りの歩道設置

根室本線踏切から曙通りまでの幕別本通りの両側に、昨年度から三カ年計画で歩道を設置しています。本年度は平和通りから踏切の間百六十八メートルを整備します。

▼カーブ警戒誘導標識の設置

交通安全対策として、カーブ警戒誘導標識を町道五カ所に十基設置します。

▼防犯・街路灯の設置

夜間における防犯と交通安全確保のため、約三百五十万円の予算で水銀灯を六十七基設置します。

公営住宅

▼町営住宅の建設

寿町に二階建て町営住宅一棟八戸を建設します。完成の予定は十一月末で十二月月上旬に入居できる予定です。

▼公営住宅の補修

道営・町営住宅の補修（畳表裏替え、排水、建具）や、四階建て住宅の赤水対策として給水管の清掃を計画的に実施します。

下水道

▼幕別地区

五十年からスタートした公共下水道事業は、五十九年五月から供用が開始されました。六十一年度末の普及率は六五・五％で、本年度は汚水枝線（八百九十七メートル）の新設工事を行います。

▼札内地区

十勝川流域関連公共下水道として、五十九年度から着手しました。本年度は中継ポンプ場の建設と札内幹線（四百メートル）、汚水幹線（六百六十一メートル）の新設工事を行います。

上水道

▼水道管の布設

札内北土地区画整理事業による道路整備に合わせて、配水本管七千六百四十メートルを布設します。また、老朽化した配水本管の取り替えを行います。事業費は総額では一億百万円になります。

▼家庭用水量器の取り替え

各家庭の水道使用量を確保する

量水器を取り替えます。八百二十個で約九百二十万円の予算です。

近隣センター

▼相川西近隣センターの建設

相川西近隣センターを相川小学校の西側に建設します。面積は百三十七平方メートルで、十月下旬に完成の予定です。

▼近隣センターの整備

北栄町近隣センターの増築を行います。増築面積は約六十七平方メートルの予定です。

また、青葉町近隣センター（勤労者福祉会館）の駐車場（三百七十平方メートル）の舗装を行います。

環境衛生

▼幕別墓地の環境整備

旧火葬場に隣接している幕別墓地を墓苑化するために、環境整備を二年計画で行います。本年度は、旧火葬場と管理人住宅の取り壊しや駐車場の路盤改良、あずま屋の設置などの事業を予定しています。

▼ゴミ処理などの負担金

ゴミやし尿は近隣市町村と共同で処理しています。ゴミ処理に三千四百十八万一千円、し尿処理に五千八百十万六千円の合わせて九千二百二十八万七千円を負担しています。し尿処理は下水道の普及などにより年々負担金は減少していますが、ゴミ処理については増大の傾向があります。

福祉と健康の充実

老人福祉

▼老人健康増進センターの建設

昨年度は札内地区と駒島地区に老人健康増進センター（室内ゲートボール場）を建設しましたが、本年度は幕別地区に建設します。約六百平方メートルの建物で、十一月に完成の予定です。

▼ゲートボールの振興

駒島地区にゲートボール場を二面造成します。また、ゲートボール用具十セットを購入して老人クラブなどで利用していただきます。

▼老人クラブへの補助金

各単位老人クラブへ補助金を交付しています。昨年度はクラブ員一人当たり千円でしたが、本年度から千二百円になりました。予算額は二百六万円でです。

▼老人入浴車の購入

寝たきり老人や身体に重い障害のある人のために、老人入浴車をより機能的なものに更新します。

▼敬老祝い金

長寿を祝福する祝い金を、七十五歳以上のお年寄りにお贈りします。予算額は一千三百五十八万円です。

身障者福祉

▼重度心身障害児家庭への見舞金

十八歳未満で心身の不自由な方がいる家庭（在宅）に、月額三千五百円をお贈りします。

▼心身障害児への通園・訓練費の助成

心身の機能回復訓練のため、訓練施設に通学、通園する児童に通園費などの助成をします。予算額は八十八万二千円です。

勤労者福祉

▼勤労者生活資金の貸し付け

労働組合や職員団体などの組織に加入していないため、どこからも生活に必要なお金が借りられない人のための制度です。

お貸しする金額は一万円以上十万円以内で、一年以内に償還していただきます。利率は年三％です。生活資金の申し込みは、開発商工課労政係 ☎ 54-2111 内線 235へご相談ください。

児童福祉

▼遺児援護金

不幸にして生計の中心者を失った義務教育終了前の遺児の方、また二十歳未満で障害を持った方に月額三千円をお贈りします。

▼児童手当

十八歳未満の子供が二人以上いて、一定の要件を満たす場合に児

童手当が支給されます。予算額は三千三百八十七万円です。

▼保育所

定員を大幅に割った新川と大豊のへき地保育所を閉鎖し、新たに中里に開設します。これにより、常設六カ所、へき地九カ所の保育所になります。

ウタリ住民福祉

▼千住生活館の改修

昭和三十八年に建てられた千住生活館の老朽化が著しいため、昨年度から二年計画で改修をしています。本年度は、外部改修を行います。

医療

▼医療費の助成

六歳未満の子供が病気にかかったとき、重度心身障害者や母子家庭の方、お年寄り（六十五歳以上）の方に医療費の助成をしています。予算額は六千二百万円です。

保健・予防

▼健康教育

婦人部、老人クラブなどの集まりに、希望に応じ保健婦が出かけていき、健康教育を行います。お気軽に町民課保健予防係へご相談ください。

▼各種検診の実施

乳幼児の健康診断や、胃がん検診、多項目血液検査、婦人科検診、結核検診など成人病検診を行います。

教育施設の整備

学校教育

▼中里小学校に屋内体育館を建設

十勝管内で唯一、屋内体育館のなかった中里小学校に屋内体育館を建設します。校舎の西側に建てられる体育館は五百四平方メートル、アリーナ、ステージの外、学校開放用の玄関、水飲み場などが設けられます。事業費は約一億百万円で、十二月初旬に完成の予定です。



今年待望の屋内体育館が建設される中里小学校

▼学校施設の整備

糠内小学校校舎の改修工事を行います。改修されるのは東側校舎で、床や屋根の改修、断熱工事などをを行います。また、学校開放事業の不便さを解消するために札内北小学校の屋内体育館を増築し、

玄関や更衣室を設置します。

▼学校および教職員住宅補修工事

学校施設の維持・補修や環境整備をします。また、教職員住宅の窓のアルミサッシや網戸の取り付けも年次計画で進めています。約一千七百万円の予算です。

▼遠距離通学補助制度

小学生は片道四キロ以上、中学生は同じく六キロ以上の距離を通学する児童・生徒に補助をします。八十一万円の予算です。

▼就学援助制度

経済的理由で就学が困難な家庭や、一定の収入額以下の家庭の子ども（小・中学生）を対象に、学用品費や給食費、修学旅行費などを援助しています。援助する額は国で決められた額の範囲内です。予算額は約二千五百五十万円です。

社会教育

▼少年自然教室の設置

青少年の宿泊研修施設として、新和小学校校舎を改修して少年自然教室を設置します。約二千五百万円の事業費で九月上旬に完成の予定です。

▼社会教育施設の整備

駒島公民館駐車場の舗装と新和公民館の床改修工事を行います。事業費は総額で五百四十万円にな

ります。

▼図書購入

町民会館と札内福祉センターにそれぞれ図書室があります。本年度も蔵書の充実を図るため、図書を購入します。予算額は百三十万円です。

▼社会教育関係団体への補助

社会教育活動を円滑に推進するために、町内には文化協会や婦人団体などさまざまな団体があります。それらの団体へ補助金を交付します。総額で二百五十四万円の予算です。

▼学童保育所の開設

家庭において何かの理由で保護を受けられない小学一・二年生を

対象に、日曜日と祭日を除く毎日、午後一時から五時までお子さんをお預りしています。現在、町内三カ所で開設しています。保育料は月額四千円です。

社会体育

▼札中グラウンドに夜間照明灯を設置

勤労者の方々が広くスポーツに親しめるように、札内中学校のソフトボール場に夜間照明灯を設置します。約二千万円の事業費です。

▼社会体育関係団体への援助

十六団体が加盟している体育連盟に百万円、三十三団体が加盟しているスポーツ少年団本部に三十

八万四千円の補助金を交付します。

▼スポーツ傷害見舞金の支給

スポーツ行事への参加者が負傷した場合に、通院一日につき五百円の見舞金を支給します。予算額は十万円です。

▼農業者トレーニングセンターの管理・運営

五十八年十月にオープンしたトレーニングセンターは、昨年度は延べ五万八千四百九十人（一日平均百九十人）の利用がありました。開館時間は午前九時から午後九時までで、毎週火曜日が休館日になっています。トレーニングセンターの管理・運営にかかる今年度の予算額は約一千万円です。

産業の振興

農業

▼地域野菜生産団地育成事業（貸付金制度）

昭和五十三年度から町の単独事業として行われています。野菜生産農家（五戸以上で組織する集団）が、生産管理施設や機械を導入して作業の共同化、生産物の一元集荷などを実施する場合、五百万円（最高限度額）をお貸しいたします。貸し付け期間は五年間で無利子となっています。本年度から対象団地が一団地増えて二団地になりま

した。予算額は一千万円です。

▼道営土地改良事業

農業生産に適するように、耕地の改良、農用地の規模拡大、農村道路網の整備などの基礎的条件を整備するために、北海道が事業主体になって行います。町は事業費の二〇％前後の額を負担します。事業の内容によっては、受益農家も事業費の一部を負担します。

本年度は総額で約十八億七千万円の事業費で、そのうち町の負担額は二億八千八百万円になります。

▼農業生産体質強化総合推進対策

事業

能率的な生産技術を導入し、地域全体の農業生産力の向上を図るための事業です。事業主体は幕別農協で、糠内地区に小麦の乾燥施設を設置します。事業費は約三億四千万円で、国から約一億五千三百万円の補助金が交付される見込みです。

▼堆肥造成事業

乳牛や肉牛のふんを短期間で堆肥化し、畑作農家に還元する事業です。本年度から実験段階ですが実施します。約三百万円の事業費です。

▼肉用牛の導入

肉用牛資源の拡大と経営の安定向上を図るため、道農業開発公社

から雌の繁殖用肉牛を導入し、畜産農家へ貸し付けをします。貸し付け期間は五年間で、五年後に畜産農家へ譲り渡されます。畜産農家は満五年目に譲渡価格分を道農業開発公社に支払います。本年度は六十四頭を導入します。

林業

町有林の造成

町有林は一千二百二十畝あり、毎年造成事業を行っています。本年度は、昨春秋に地ごしらえをした三畝にトドマツの植栽を行います。秋には三畝の地ごしらえを行います。

除間伐推進事業

町の単独事業で、民有林の振興と造林意欲の向上を図るためのも

たか はし その こ
高橋園子さん
(19歳)

寿町95

▼まるだいいマート▲

早く一人前になりたいですね



勤めて丸3カ月でようやく職場の雰囲気や仕事に慣れてきたところです。レジを担当しているので接客には失礼のないように、お金の扱いは慎重にをモットーにしています。早く一人前になりたいですね。

休日にはもっぱら洗濯とか掃除に追われています。高校時代に部活で演劇をやっていたので、町内にアマチュア劇団があれば参加したいんですが…。

こんにちは ②6

金を交付しています。補助金は一件につき五万円です。予算額は五十万円です。

▼町商工会への補助

商工会が行う経営改善普及事業（経営の合理化、経理技術の向上などの相談指導）や一般事業（総合振興対策、商工業振興対策）、管理運営費などに一千六百六十三万四千円の補助を行います。

▼中小企業への融資制度

町内にある中小企業の経営の合理化と設備の近代化のために、資金をお貸しします。対象となるのは、町内で同一事業を一年以上営んでいて、従業員数が五十人以下の会社または個人で、町税を完納していることが条件です。予算額は六千万円です。

観光開発

▼観光協会への補助

観光資源の調査・開発、地場産品の紹介・宣伝などを目的として昭和五十二年に観光協会が発足しました。「産業まつり」「物産キャンペーン」などの観光事業を実施しています。観光協会に対する補助金は四百四十万円です。

▼国民宿舎幕別温泉ホテル

同ホテルは、昭和四十三年十二月にオープンしました。ホテル周辺には温水プール、ふるさと館、野球場、パークゴルフ場などがあり、町民の憩いの場として定着しています。

各大会で熱戦が展開

早朝リーグ戦、レディース・カップ

選、決勝各リーグ戦が毎朝五時半から幕別運動公園のつつじコースで展開されていました。また、六月二十一日には、レディ



コミュニティ
スポーツ

六月八日から連

日熱戦が繰り広げられていた第一回幕別町パークゴルフ早朝リーグ戦大会が六月二十日に全日程を終え、オービーキングチームが優勝しました。この大会は一チーム四人の打数トータルで勝敗を決める方式で、十二チームが参加し、予選、決勝各リーグ戦が毎朝五時半から幕別運動公園のつつじコースで展開されていました。



左から準優勝の西山さん、優勝の宮島さん、3位の額縁さん（レディース・カップ）

幕別町で生まれた パークゴルフ

第1回早朝リーグ戦大会の結果

優勝	オービーキング（中村覚、加藤光人、木藤保一、高橋政雄、橋本孝男、山崎賢一）
準優勝	フェア（岩井浩、橋浦武、大久保正司、金岡信子、佐々木美江子、額縁末子）
第3位	新田ベニヤ（国枝勝一、南条信一、斉藤静一、塚田勝、小笠原芳孝、熊谷頼満）

レディース・カップ大会の結果

エルムコース	36ホール	パー132
優勝	宮島巴枝	（緑町） 126
準優勝	西山桃子	（錦町） 128
第3位	額縁末子	（錦町） 130
第4位	徳堂竹子	（春日町） 133
第5位	佐々木美江子	（錦町） 134
第6位	鈴木ユキ子	（春日町） 134



札内南小学校の開校10周年記念パレードが6月13日に行われました。パレードには、同校の5・6年生全員の216人が参加。器楽演奏をしながら同校周辺の通学路を行進し、沿道からさかんな拍手を受けていました。

札内南小学校十周年を 記念してパレード

札内地区の交通安全運動を推進している札内交通安全実践会（伊藤一男会長）が、札内支所前に交通安全を啓発する看板を設置しました。看板は「さつない」の四字を頭文字にした標語が書かれているユニークなもので、地域の好評を博しています。



札内支所前にユニークな看板



特養の清掃にさわやかな汗



明るい社会づくり協議会十勝支部幕別地区（佐伯浩志会長）が六月二十一日、特別養護老人ホーム札内寮の清掃などのボランティア活動を行いました。この日は約五十人の会員が手分けして、窓ふきやおしめ縫いにさわやかな汗を流しました。

あかしや公区（藤川治公区長）の創立20周年記念式典が6月21日、あかしや近隣センターで行われました。式典には来賓を含め約80人が出席し、今後も明るい公区づくりに努力することを誓い合っていました。



あかしや公区創立二十周年

幕別 ④ 続・ものがたり

役場庁舎正面左手に静かに納り建つ胸像は、「岩永右八」と名が記されている。明治二十五年、佐賀県人岩永右八が移住した初めての入植地は白入村であった。後に猿別に移転している。明治三十年六月に幕別外六カ村戸長役場が設けられてから同三十九年四月までの間、現在の議員制度にかわるものとして総代人制度があり、岩永右八はこの総代人氏名の筆頭に記された。明治三十四年には猿別郵便局長となり、同三十七年八月、道議会議員に初当選した。その後二度道議に当選したが四十四年五月、在任中に死去した。彼の偉業をしのび昭和十三年に胸像が建立されたが、戦争中の昭和十八年に戦いに必要な物を造るためということで供出された。再建されたのは昭和三十三年十一月のことである。

幕別の基礎を築いた岩永右八 胸像 は 本 郷 新 が 製 作

胸像が建立された理由としては、単に右八が道議会議員であったためだけではない。前記役場を当時の猿別市街に設置したほか、猿別糠内間の道路開削、小学校、駐在所、農会設置等に尽力した。また、村の基本

（記 ふるさと館郷土史部会・斉藤すみ子）
の作品を残し、昭和五十五年に死去している。

右八の生家は酒造業を営む旧家で父は岩永彦一といい、右八は家業に従事した左八と双子であった。慶応三年に生まれた右八は明治法律学校に学び、幕別に幾多の功績を残して四十五歳という若さで死去した。

右八の生家は酒造業を営む旧家で父は岩永彦一といい、右八は家業に従事した左八と双子であった。慶応三年に生まれた右八は明治法律学校に学び、幕別に幾多の功績を残して四十五歳という若さで死去した。



役場前に建つ「岩永右八」の胸像

広報クイズ—④

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがきに書いてお送りください。

- ① 5 月中に幕別町に転入してきたのは
 ①A57人 ②B67人 ③C77人
- ②第 2 回定例町議会で16億 2 千 6 百万円の
 政策予算が補正されましたが、補正後の
 一般会計総額は
 ①A約60億円 ②B約77億円 ③C約80億円
- ③今年待望の屋内体育館が建設されるのは
 ①A中里小学校 ②B明倫小学校 ③C達別小
 学校
- ④6 月21日に公区創立20周年記念式典を開
 催した公区は
 ①A泉町 ②B桜町 ③Cあかしや
- ⑤岩永右八の胸像があるのは
 ①A札内駅前 ②B役場庁舎前 ③C幕別駅前

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①—④)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先＝☎089-06 幕別町本町130

役場内・広報係

★締め切り＝7月15日（15日の消印有効）

★前回の正解は、①—B、②—A、③—C、④—B、⑤—Aでした。応募34通で全問正解は29通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

千葉加奈恵(6・桂町) 氏家準子(34・緑町) 阿部和也(8・あかしや町) 上井久子(37・緑町) 大坂みどり(16・あかしや町)



みんなの
ペン・ジ



み んなにもあまり知られていないような小さな名所（幕別町内）を募集して、この広報まぐべつのほんのかたすみにでも地図をそえて、毎月一カ所づつ紹介するというのはどうでしょうか？

↓あかしや町 森美代子（三〇）

♣…とてもおもしろい企画ですね。町観光協会で決めた「幕別八景」というのもあるんです。何ら

幕 別町に住んで五年になります。広報はずっと楽しく読んでいます。幕別をより住み良い町にしてください。

俳句村 先輩の碑に 夏の風
↓春日町 川口総一郎(?)

現 在、家庭には多くの印刷物が配布されています。よく読んでもらうために「広報クイズ」をとり入れた「アイデア」に感心し

毎回見るのが楽しみになりました。
 “まちのニュース”がもっとたくさん
 知りたいです。↓桂町 千葉咲
 子(三七)

😊…この「みんなのページ」ができてからかかさずみています。これからもずっと続けてください。↓
 あかしや町 吉田幸広(二)

😊…もっとたくさんクイズを出してほしい。↓桜町 原田雅光(二〇)

ハガキで一言

一市町村が指定を受けています。広報紙では五十九年の十二月号で予防対策などを紹介していますが、近いうちに再度掲載します。

😊…第一回目で当選し、親子共々大感激。ありがとうございます。

かのかたちで町内の名所を紹介したいと考えています。

㊦ タキツネが家の前をうろついているので、エキノコックス症について詳しく教えてほしいです。㊦古舞 久保千子^{三九}

❖ 幕別町は汚染地区に指定されていませんが、十勝管内では十

ています。↓桂町 中山孝義(五〇)

ほんの一言

😊…先月号のみんなのページを見たら私ののがのっていました。でも名前がまちがっていました。カナシー。↓桂町 石田恵里子(二二)

♣…恵里子ちゃんではなく、恵理。

ふるさとへの便り...①⑥

テレビで見た

古里幕別

五月下旬の朝のこと。

「お母さんの生まれた北海道の幕別がテレビに出ているよ」と長男の声！

明野ヶ丘公園のきれいな芝桜の花。それにパークゴルフ。パークゴルフってなんだろう？ゲートボールだったら知っているけど……。なんて思いながらの数分間、とても懐しく見入っていました。二年前の帰郷、そして昨年初めて東京幕別会に出席させていただき、故郷の幕別町は年々若返っているんだなあーと思いました。遠い地に離れて暮らしている私ですが、自慢できると故郷を持つていることはいれしく思います。私も幕別のようにならなければと思う今日このごろです。

（花田さんの旧姓は佐古さん）



はなだようこ
花田陽子さん (38歳)
(千葉県千葉市)

ナイターグラウンドがオープン

一般使用は七月中旬から

幕別運動公園のソフトボール場
に夜間照明灯が設置されましたが、
そのナイター施設のグラウンド開
きが六月十四日に行われました。
この照明灯は昨年の十一月に設置
されたもので、本格的なナイター
シーズンを迎えオープンとなりま
した。
照明は四基あり、一基に一キロワ
ットのナトリウム灯などが八灯ついて

た。同ソフトボール場は、固定ベ
イスで外野フェンスも完備してお
り、本格的なソフトボール専用球
場になっています。
一般のチームの使用については、
現在行われている町民ソフトボー
ル大会が終了する七月十五日ごろ
からの予定で、希望する場合は事
前に町教委への申請が必要です。
なお、本年度は札中グラウンド
に照明灯を設置する予定です。

「寄付ありがとうございます」

町へ：
▽菊地基子さん(豊町)から二十

28 地域に密着した企業団に



明野工業団地懇話会
会長 安田 やすひろ
おき 慶興 さん
(明野209・47歳)

明野工業団地とその周辺の事業
所で組織している明野工業団地懇
話会の総会が五月二十三日に行わ
れ、会長に安田慶興さん(西尾商
店十勝製材工場取締役工場長)が
再選されました。



「この工業団地が造成され
たのが昭和四十七年で、五
十年には十社ほどの企業が
入っていました。道内各地
から来た企業なので幕別町
のことをよく知りませんし、
また、お互いの情報交換を
図ろうという目的で町の指
導を受けてこの懇話会が発
足しました。現在、十五社

で組織しています」



「地域に密着した企業団という
ことで、これまでに国道のクリ
ン作戦や社会福祉事業への協力な
どをしてきましたが、今年はこれ
らに加えて交通安全運動の推進と
献血事業への協力を計画していま
す。特に献血事業については、将
来的には団地内に献血車を呼べる
ようにしたいですね。レクリエー
ション事業では、今年からパーク
ゴルフを取り入れる予定です。幕
別町で生まれたスポーツですから
大事に育てたいですね」



昭和十四年十二月、苫小牧生ま
れ。奥さんと娘さんの三人暮らし。
趣味のゴルフはシングルの腕前。

万円
▽老人福祉センターへ松田
豊四郎さん(古舞)と西川フデさん
(猿別)から各種花苗

から一万円、関口喜好さん(同)か
ら一万円
▽永沢巖さん(旭町)か
ら旭町老人クラブへ一万円
▽菊
地豊さん(相川)から相川南老友会
へ五万円
▽途別老人クラブへ山
口孝さん(途別)から五万円、松浦
隆さん(同)から三万円
▽萩原タ
ミさん(栄)から古舞老人クラブへ
二万円
▽前田キミさん(豊町)か
ら札内寿会へ二万円
▽桑井宏智
さん(本町)から中央老人クラブへ
五万円
▽村田進さん(駒島)から
駒島老人クラブへ三万円

■社会福祉協議会へ：
▽小林正忠さん(糠内)から三万
円
▽菊地豊さん(相川)から十萬
円
▽佐野テルさん(桂町)から五
万円
▽山口孝さん(途別)から十
万円
▽桑井宏智さん(本町)から
三十万円
▽武田衛さん(旭町)か
ら十万円
▽匿名の方から一千七
百六十五円

■その他：
▽小林正忠さん(糠内)から南幕
別新生活改善推進委員会へ二千元

老人クラブへ二万円
▽稲志別老
人クラブへ和泉藤吉さん(稲志別)

安全の交差点と 点検をしっかりと



川島 繁
帯広警察署長

帯広警察署管内の交通事故の
原因を調べてみますと、その七
割は交差点での安全確認が不十
分なために起きたものです。全
道平均が六割ですから、かなり
高率といえます。また、一時停
止の標識があるのに止まらなか
ったための事故が二・五%、
八件に一件の割合です。全道平
均では六%ですから、二倍以上の
比率で起きていることになりま

す。ドライバーのみなさん一人
ひとり、交差点での安全確認
を徹底することが、事故を防ぐ
決め手です。
道路交通法(四一条)は
見とおしのきかない交差点
では徐行して安全を確認する
こと
を義務づけています。この場合
「徐行」とは「危険を感じたとき、
いつでも停止できる速度」のこ
とです。
十勝の事故の八六%は、十勝
のドライバーの起こした事故で
す。交差点の安全確認を徹底し、
十勝から交通事故を少しでも減
らすよう、みなさんのご協力を
お願いします。